広報 たかのす
発行所　鷹巣町役場
総務課考査係
電　話(代)　②1111番
（発行部数　6,200部）
印刷所　成文社印刷所

町営住宅（20戸）が十一月いっぱいで完成

入札も終りいよいよ着工

本年度町営住宅建設は既報のとおり綴子、高野尻地内に二十戸を発注し本年十一月いっぱいで完成する。

昭和四十三年度町営住宅建設は二十戸と決定、住宅敷地を綴子・高野尻地内に四千五百三十・三四平方米を土地所有者から買収、宅地の造成も終り、去る八月二十九日役場会議室で指名競争入札の結果、福島隆三（鷹巣）、村上哲治郎（掛泥）となっています。上水道は綴子簡易水道から給水されます。そのほか、柵塀、物干台、排水こうがあり、サワラの縁樹も植えられる。

この住宅二十戸の敷地造成工事、主体工事、附帯工事、諸経費を合せて一千二百四十八万円が計上され、うち国庫補助で計費の三分の二が補助されます。

完成予定は十一月三十日で、入居希望者は公募し、十一月二十日ころから受付け開始の予定。申込み方法資格などについては町広報でお知らせします。

交通安全は
家庭から
職場から

交通事故巡回相談日

県では隔月に交通事故相談日を設定して相談にあたっておりますが、今月は次の日程で行なわれます。交通事故でお困りの方は相談ください。

▽とき　九月十二日午前九時～午後四時三十分

▽ところ　北秋田福祉事務所小会議室

日赤社資募金に感謝します

さる六月から日赤社資募金を行ないましたが、町民各位のご協力を得て八月十三日をもって一応終了いたしましたので次のとおり報告します。

目標額　四十九万五千五百円

募金額　五十一万七千四百六十円

目標額に対する超過額　二万一千九百六十円

日赤県支部へ送金額　五十一万七千四百六十円

日赤社資地区別募金内訳

地区別	募金額
鷹巣	204,975円
綴子	28,700
栄	90,160
坊沢	41,020
七座	32,105
七日市	67,720
計	52,780
	517,460

◎部落ぐるみで道路愛護◎

「道路愛護月間」が八月いっぱい行なわれました。

この行事は全国的に、道路を広く正しく使おうという主旨で、いろいろな行なわれたものです。本町では前山、蟹沢、大野尻、大向地内の町道や県道を地元部落民が総出で道路補修、側こうあげ、草払いを実施、町でもダンプカーを操り出しました。

〔総出で道路を補修する部落民＝大向地内で＝写真上〕

◎グレーダーただいま活躍中◎

町では、道路補修をスピード化するためグレーダーを購入し、先月から町道で働いています。

〔活躍するグレーダー＝写真下〕

町社会福祉協議会へ

このほど松葉町、津谷正司さんから、亡母ブンさんの香典返しにと一〇、〇〇〇円を町社会福祉協議会へ寄せられました。ご芳志に深く感謝いたします。

バイクと耕運機のナンバー更新を

八月十日付け町広報でお知らせしましたが、いま軽自動車のうち原動機付自転車（バイク）と農耕作業用自動車（耕耘機）のナンバープレートの更新を行なっています。各地区巡回したときおいでにならなかった方のため九月二十日まで延期して交付します。

なお旧ナンバーは九月二十日以降無効となりますので、必ず申告ください。新しく車両を取得された方も同様です。また新しく所有して申告しない方は地方税法第八四条により三万円以下の過料になることがありますので、念のため申し添えます。

▽交付場所　役場税務課

▽印鑑も持参ください

▽更新は無料です

綴子農協有線放送電話が公社電話と接続

綴子農業協同組合の自動式有線放送電話は、八月六日午前零時を期して、待望の公社電話と接続しました。同農協では公社線から有線放送電話を利用するときは鷹巣二局三九一番をダイヤルし、相手の番号（または部落、加入者）を告げてください。

なお、局衆電話からの市外通話で、他の公衆の電話利用に非常に支障があるとき、通話がこんでいるとき十分を経過してもまだ終らないとき、通話しない状態が長い時間続いているときは、公社で通話を切断するときがあります。

市外との接続は五城目、一日市、岩見三内、和田、戸米川、大正寺、羽後境、峰吉川、羽後母岡、羽後荒川、淀川、横手が待時通話のほか、県内はとんどと即時通話ができます。

あなたの要望ご意見

町を明るく豊かにするため、みなさんの町政に対する要望をお寄せください。

どんなことでもけっこうです。身近かな問題、ご要望などお待ちしています。

あて先は
役場総務課考査係

戦没者のみたまを悼う

八月十六日午後一時から鷹巣町公民館において町内出身者の戦没者追悼式が町主催で行なわれました。

これは戌辰の役から太平洋戦争までの戦没者六五五柱の霊をなぐさめるもので遺族四〇名が参加、町長の式辞のあと知事代理などの追悼のことば、献花があり、遺族代表として守遺族会長田村多市氏が謝辞をのべました。

〔写真＝追悼式〕

町長面会日

≈毎月第1，第3火曜日です≈

- 時　間＝午前9時から正午まで。
- 場　所＝鷹巣町役場二階会議室で受付けます。
- 面会内容＝町政に対する要望・意見・苦情など。

◎面会希望の方は気軽においでください。

9月は
3日・17日です

今月のくらしのメモ

▽季節の話題

九月の和名は「ながつき」といいます。この呼び名は陰暦ですから太陽暦では十月半ば過ぎ、ことしは旧九月一日が新暦十月二十二日に当たるからと考えてよいでしょう。としますと、この「ながつき」という和名は「長くなる月」あるいは「夜が長くなる月」ということに由来すると考えてよいでしょう。一般には、後者が定説になっています。

▽今月のこよみ

朝夕、めっきり涼しくなりました。農家にとってはたいじな収穫時期となります。からだには十分気をつけて農作業につとめましょう。

さて、今月は敬老の日（十五日）を中心におとし寄りを敬まう運動が繰り広げられます。保健衛生に関係した行事もたくさん行なわれる月です。

一日　防災の日、性病予防週間、愛の血液助け合い運動月間、精神薄弱者愛護月間、野犬一掃運動、健康体操普及月間、身体障害者雇用促進運動週間、福祉年金支払の月

三日　町長面会日

十一日　二百十日

十三日　司法保護記念日

十五日　敬老の日、老人福祉週間、第十六回働く婦人の福祉運動（～二十四日）、家庭の日

十七日　町長面会日

二十日　彼岸入り、動物愛護週間（～二十六日）

二十三日　秋分の日

二十四日　結核予防週間（～三十日）

▽夏をしまう

九月も十日すぎになると、ぼつぼつ衣替えの用意がいそがれますと同時に、夏ものあが長くなる月、ということに由来すると考えてよいでしょう。一般には、後者が定説になっています。

▽今月のこよみ

朝夕、めっきり涼しくなりました。農家にとってはたいじな収穫時期となります。からだには十分気をつけて農作業につとめましょう。

さて、今月は敬老の日（十五日）を中心におとし寄りを敬まう運動が繰り広げられます。保健衛生に関係した行事もたくさん行なわれる月です。

一日　防災の日、性病予防週間、愛の血液助け合い運動月間、精神薄弱者愛護月間、野犬一掃運動、健康体操普及月間、身体障害者雇用促進運動週間、福祉年金支払の月

三日　町長面会日

十一日　二百十日

十三日　司法保護記念日

十五日　敬老の日、老人福祉週間、第十六回働く婦人の福祉運動（～二十四日）、家庭の日

▽食べもの

秋は、食べものの季節。秋になると、にわかに空腹を感じます。もし食欲がないというなら、からだに故障があると考えてください。

いままでの暑さでからだが疲れていますからです。ビタミン類―野菜やくだものを―をたくさん召し上ってください。ぶどうやなし、中旬からはリンゴも豊富に出回ることでしょう。

生活保護世帯にテレビ三台贈る
佐々木さんの善意

鷹巣用見町、電気商佐々保護をうけている家庭へ中木正夫さん(32)が、先月二台品（十四インチ）テレビ十一日役場を訪れ、町社会を贈りたいと目録を贈った福祉協議会をとおして生活　社会福祉協議会では、民生委員に依頼して寄贈先を選んで近くプレゼントすることになりました。

佐々木さんは、十三年間陽清学園の施設にテレビやき号が来町し、献血をおねがいすることになりました。贈っており、八月二十九日町で必要な血液量を一〇〇の県の記念日には善行者として知事から表彰を受けております。（写真＝佐々木さん）

〔稲作業メモ〕適期刈取りと適正な乾燥を

昭和四十三年産米は「良り後短時間の稲束乾燥だけ質な米を豊富に」という消費者の世論は急速に高まり品質改善がいっそう強く要請され、産米改良に大きな期待がよせられています。

昨年の産米の検査を通じて見受けられた品質改善事項は次のとおりです。

＜適期刈取りの励行＞

農家の労力不足などからとも、その性能を過信して能率をあげるため、使用稲の刈り取り時期が遅れる傾向が見受けられる。すなわち昨年産米でも米粒に割れ目を生じたいわゆる胴割粒が多く発生しているので刈り遅れないよう適期に刈り取り、品質低下の防止を願いたい。

＜発酵米の発生防止＞

収穫作業の機械化によって能率をあげるため、使用品種に応じた適正な乾燥を実施してください。

＜適正な乾燥の実施＞

最近個人乾燥機の普及と共に、水分の乾減率などには、十分留意して、乾燥機の機能を十分発揮するよう、作業能率が向上した反面、省力化のあまり、刈取直ちに脱穀されたもみは、品質改善がいっそう強く要請され、産米改良に大きな期待がよせられています。

昨年の産米の検査を通じて見受けられた品質改善事項は次のとおりです。

＜適期刈取りの励行＞

農家の労力不足などからとも、その性能を過信して能率をあげるため、使用稲の刈り取り時期が遅れる傾向が見受けられる。すなわち昨年産米でも米粒に割れ目を生じたいわゆる胴割粒が多く発生しているので刈り遅れないよう適期に刈り取り、品質低下の防止を願いたい。

＜発酵米の発生防止＞

収穫作業の機械化によって能率をあげるため、使用品種に応じた適正な乾燥を実施してください。

やればできる

きょうは楽しいすもう大会。　よその子ども会の友だちも集つてきている。　「おたがいにがんばろう」　うちのおとうさんやおかあさんも見ている。　みんなが友だちになれるのが楽しいなあ。げんききくやりましょう。（8月17日行なわれた全町子ども会対抗すもう大会から）

愛の献血をおねがいします
16日にあかつき号来町

愛の血液助け合い運動がこの一日から三十日まで行なわれます。

輸血に要する保存血液は町民のみなさんの絶大な協力によって認識が高まり全国的にも最近では輸血に必要とされる保存血液の約八〇%が献血によって確保されるまでになりました。

このような献血運動をさらに盛りあげるため、九月中を献血推進強化月間と定めて全国的に展開されますが、本町においても九月十六日に愛の献血車・あかつ贈っており、八月二十九日町で必要な血液量を一〇〇の県の記念日には善行者として知事から表彰を受けております。（写真＝佐々木さん）

五人以上の事業所は労災保険が必要

すでにご承知のことと思いますが、ことしの四月一日から常時五人以上の労働者を使用する事業主は、事業の種類に関係なく、すべて労災保険（労働者災害補償保険）が適用されます。

このため常時五人以上の労働者を使用する事業の事業主は、労災保険に加入の手続きをとる必要があります。また五人以下でも任意に加入することができます。

現在、五人以上の事業所に使用されている従業員の方は、自分の事業所で労災保険に加入しているかどうかお確かめください。災害いつ起きるともかぎりません。いったん災害が起きるとお勤めの方も、使用者にも不利な立場におかれます。

加入その他くわしいことは労働基準監督署（本町の管轄は大館市三の丸、大館労働基準監督署＝電話②四〇三三）または労働基準局におたずねください。加入に必要な用紙も備えつけてあります。

季節出かせぎ者に対する説明会

農閑期利用出かせぎ者が相当あると思われますので、次の日程により求人状況の説明会を開催します。

▽九月二日＝坊沢元支所、栄元支所▽三日＝七座元支所、前山会館▽四日＝沢口元支所▽五日＝綴子公民館▽七日＝七日市元支所▽十日＝三ノ渡会館。

◎時間＝午前十時～正午（坊沢、七座、七日市、三ノ渡）。午後一時～三時（栄前山、沢口、綴子）

三才児検診を行ないます

三歳児という時期は、身体の発育や精神発達が最も重要な時期といわれております。

とくに法律で三歳児について医師、歯科医等により開拓村も、いまでは隣村の心身全般わたって健康診査を行なうことになっています。その結果にもとづいて適当な指導と措置を行ないます。

ことしの三歳児検診に該当する幼児は、昭和三十九年六月一日から昭和四十年八月三十一日までの出生者日程は次のとおりです。

場所＝鷹巣保健所会議室

受付時間＝各日とも正午から午後一時まで

▽九月三日＝七日市、栄地区▽同六日＝綴子地区▽同十一日＝坊沢、沢口地区▽同十一日＝東横町、西横町、仲町、大町、学校通、旭町、新旭町、七座地区▽同十二日＝西仲通、三吉町、桜木町、元新町、栄町、花園町、末広町、米代町、東住吉町、西新町、北新町、大平町、福住町、松葉町▽同十七日＝駅前、新松葉町、材木町、東旭町、西旭町、舟見町、南鷹巣。

中屋敷に老人クラブ

八月十五日午前十時から沢口、中屋敷部落会館で老人クラブ結成総会が開かれました。

これは町内で二十三番目に誕生したものです。

中屋敷老人クラブ（会長千葉亀三郎氏＝会員四十四名）は会員お互いの親睦を深め、後立つ老人になろうとはりきっています。

郷土民話物語り
白鷺の仇討ち

森吉の高峰をはるか南に望むのそみ、あかね色の夕空をあおいで斎藤伊勢は長大息した。鹿角の里からこの米代川の右岸狐岱にうつり住んですでに五年、浄運寺と名付けて開基できたことは村の将来の飛躍を約束することでもあるのだ。

「伊勢どの、復しゅうのお手なみ、すごいことよのう」しずかな盛上にさらりと、家老は白石を投げ出した。「わしの負じやよ」

「なにかある。あの巣のなかにはきっと、なにかあるにちがいない」不思議な相談するところへ、お城から急使が快報をつたえた。

「家老殿白タカが帰りましてござります」「おお、なんと」「それも不思議な次第、いずこより身の数倍にあまる荒タカをとらえきたり、食いちぎってございます」「なに、荒タカと、父親が殺されたと申するあるいはその荒タカのツメにかかったのではござるまいか！」

因果応報じやなー存鷹禅師はつよく手に持った鉄如意で、いっしょと縁端をたたいた。

比内の大館城代佐竹氏はこの小説よりも奇な仇討ち物語りを無上のひきでものとして、時の宮廷に献じたである。その発祥の地である開拓村は、タカ物語りにちなんで、以来、鷹巣村と名付けよ」童顔うるわしく、宮廷で申された。

同時に下賜された黄金は一村をうるおし、肝入り役斎藤伊勢は村の鎮守としてその大ケヤキのもとに一宇の堂を建立した。これが、いまの北秋田郡鷹巣町八幡神社の前身である。

［秋田魁新報社編「秋田民話集一二〇選」から転載＝カットは長岐幹雄］

成功した伊勢は、ちかごろのなにく、心の張りをおぼえるのである。

おまけに宿望の在鷹禅師を本寺八世の聖僧としてこの村にむかえ、浄運寺と名付けて開基できたことは村の将来の飛躍を約束することでもあるのだ。

「伊勢どの、復しゅうのお手なみ、すごいことよのう」しずかな盛上にさらりと、家老は白石を投げ出した。「わしの負じやよ」

寺僧のすすめる薄茶を一ぶく呷しながら、陣場倍の深緑にふたりが目をうつしたとき、存鷹禅師がぬれ縁にあらわれた。ひたいにはなにか憂愁がただよっている。

「いかがなされた」「うむかわいそうなことでござるよ。例の大タカが殺されたのじゃ」「それはまたいかなる次第で？」どこからきたか素姓の知れぬ荒タカが、あのケヤキに舞いおりて雄タカを食い殺したのでござる。雌タカの留守のまでござったよ」「あの仲のよいめおとのタカがのう」「されば雌タカはさきほど帰りきたって、その死がいをみて、かなしげに鳴きおるのでな、付近のものどもがはじめてことのしだいを知ったのでござる」伊勢のあかるくはずんでいたこころが、なにかチラとよぎった。

そのめおとタカの住むケヤキの大樹は、よわいすでに五百年あまり、うっそうとしげる枝々は開拓村の洋瑞（きずい）の白タカを生んだというはなしは、村から村に伝えられ、比内の城民話集一二〇選」から転載＝カットは長岐幹雄］

鉢巻山がほんのりとあかむころ、こかげにたたずむ伊勢は突然、異様な鳴き声を聞いた。雌タカがはじめて飛びたったのだ。

「なにかある。あの巣のなかにはきっと、なにかあるにちがいない」不思議な霊感に打たれたように伊勢は部落に向かって走った。

村人をかり出した伊勢は木のぼりのうまい屈強の若者に言いつけて、親タカのいない巣をのぞかせた。「一分のサシ毛もない真白な子タカでござる」「さすがは雌タカはさきほどだんなさま、一分のサシ毛をえて、時の宮廷に献じたい。」「ちかごろ胸のすく話題である。その発祥の地である開拓村は、タカ物語りにちなんで、以来、鷹巣村と名付けよ」童顔うるわしく、宮廷で申された。

同時に下賜された黄金は一村をうるおし、肝入り役斎藤伊勢は村の鎮守としてその大ケヤキのもとに一宇の堂を建立した。これが、いまの北秋田郡鷹巣町八幡神社の前身である。

［秋田魁新報社編「秋田民話集一二〇選」から転載＝カットは長岐幹雄］

特なお話である。明春はかしこくも天子さまご誕生のお祝いがあるから、それまで当しあげるから、それまで当城に飼育いたし、大事にいたわりとらせよ」話題の白タカは鷹司たちの手によって城にうつされた。狐台の開拓村は、その時から近隣の注目をひいた。

それから数日、佐竹氏の家老小山縫殿丞が伊勢の書斎をおとずれた。顔色が青んと「お城は大さわぎじや」「いや、例の白タカがすがたを消した」「伊勢どの大変じや、例の白タカが」「えっ、すでに天子さまに献上のご内示までされたあの白タカが」

「今暁、鷹司のわずかなスキをみてのう。されば！存鷹禅師殿に善後策を相談にまいったのじや」

三人、ひたいを合わせて急ぎ城へ。

「ちかごろ胸のすく話題である。その発祥の地である開拓村は、タカ物語りにちなんで、以来、鷹巣村と名付けよ」童顔うるわしく、宮廷で申された。